

国連ユニタール協会設立から一年を迎え、数々のオンラインセミナーや研修、青少年大使プログラム、ホームページやソーシャルメディアを活用した「SDGs リレー」などの情報発信を通じ、多くの出会いがありました。

コロナ禍で大きく様変わりする社会のあり方に、当協会でも対面での事業は見合わせるなど困難に直面し、活動を模索する一年でもありました。そんな中でも、地域の、そして世界の人々の力になりたい、というたくさんの声に接したこと、こんな時だからこそできることがある、と熱意を聞かせてくださった方々。心から敬意を表するとともに、ともに乗り切ろうと応援していただける皆様に改めて感謝申し上げます。この広がりをさらに後押しし、コロナの憂いを吹き飛ばして皆様とともに「変化」を呼び込む事業を、新年度も力強く展開して参ります。今後ともご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

会員の皆様方におかれましては、4月が更新月となっておりますので、銀行振込やHPでのクレジットカード等での払い込み(PayPal)をご利用のうえ、なにとぞ更新のお手続きをお進めくださいますようお願い申し上げます。詳しくは同封しておりますご案内をご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



名誉顧問新設



当協会の運営にあたり、地域の皆様との連携を育み、活動について助言などをいただく無報酬の「名誉顧問」制度をこのほど導入。2021年1月、広島県の湯崎英彦知事と広島市の松井一實市長にご就任いただきました。メッセージをお寄せいただきました(2ページ)。



国連創設75周年記念 オンラインフォーラム

広島が被爆75年となった2020年、国連もまた創設75周年を迎え、世界の声を聴き国際協力の強化を進める「UN75イニシアティブ」の取組を行いました。ユニタールも参加しており、その締めくくりとしてオンラインフォーラム「私たちの未来を創るために～25年後の未来を見据えたスポーツと平和～」を開催します。ぜひご参加ください！



パネリストの(左から)為末大さん、ニキル・セス総代表、宮脇靖知アナウンサー

■日時: 2021年3月25日(木)18:00 - 19:30 (Zoom ウェビナー)

■主催: 国連ユニタール広島事務所・広島テレビ放送株式会社・国連ユニタール協会



今年度の国連ユニタール核軍縮不拡散研修(オンライン)にあたり、広島の復興の歩みを学ぶコンテンツにマツダ株式会社と賛助会員のオタフクソース株式会社にご協力いただきました。小飼雅道代表取締役会長(マツダ)とニキル・セス総代表(ユニタール)との2019年の会談の様も交え、ユニタールHPでご覧いただけます。

<https://unitar.org/ja/hiroshima/news-stories/news/mazda-hiroshima>

CONTENTS

- P1 ... ご挨拶 他
- P2 ... 名誉顧問挨拶 他
- P3 ... 青少年大使・ITM シリーズ 他
- P4 ... SDGsリレー 他



名誉顧問からのメッセージ



この度、一般社団法人国連ユニタール協会の名誉顧問に就任しました広島県知事の湯崎英彦です。この場をお借りして、会員の皆様の御支援に感謝申し上げます。

御存知のように、広島は1945年、原子爆弾によって壊滅的な被害を受けましたが、世界中からの御支援と人々のたゆまぬ努力によって、廃墟からの復興を果たすことができました。この歴史的な背景により、広島は復興への確信と信念、将来への希望を感じていただける場所であると考えており、広島県では、平和な社会の創造に役立てていただくことを期待し、広島の歴史的背景を活かした国際平和貢献を行ってまいりました。

ユニタール広島事務所が、平成15年に、中国・四国地方唯一の国連機関として開設されて以降、今日まで世界中から多くの方々が広島を訪れ、様々なスキルアップのための知識・技術はもとより、被爆の実相や復興のあゆみを学び、平和と希望のシンボルとしての広島を世界に発信していただいております。広島県もこの活動を支援しています。

ユニタール広島事務所の活動の成果を地域に還元することを目的とした支援組織の設立により、ユニタール広島事務所の活動がより多くの方々に支えられ、さらに活発化していくことは、誠に意義深く、広島国際平和拠点づくりを進めております本県としても、大変心強く感じています。

また、国連ユニタール協会の活動を通じて、中国・四国地方唯一の国連機関であるユニタールが、地域の皆様にとって、身近な存在と感じていただくことで、国際貢献の輪が広がっていくこと、さらには、ユニタールの人材育成の知見が地域に還元されることで、持続可能な世界の繁栄と国際平和の実現のために、我々と共に行動いただく人々の輪が広がっていくことを期待しています。

終わりに、当協会設立により、ユニタール広島事務所の活動が、皆様によって支えられ、さらに活発化していくことを意義深く感じています。今後とも、御支援、御協力の程、宜しく願い申し上げます。

一般社団法人 国連ユニタール協会
名誉顧問 湯崎 英彦



この度、一般社団法人国連ユニタール協会の名誉顧問に就任させていただきこととなり、心から光栄に思いますとともに、協会の一員としてその有意義な活動に関われることを大変楽しみにしています。

中国・四国地方唯一の国連機関である国連ユニタール広島事務所は、設立以来、地元の皆様からの支援を受け、平和構築や軍縮等をテーマとするプログラムを実施することにより、紛争や内戦、貧困などの困難を抱えた国々の復興と発展をリードする人材育成に大いに貢献してこられました。そうした活動を通じて、各国から参加する多くの人々が被爆の実相を学び、「ヒロシマの心」を共有していただくことは核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指す本市にとりまして大変意義深いものであり、設立当初からその活動を応援させていただいております。

こうしたユニタール広島事務所の意義ある活動を支援するための組織として設立された国連ユニタール

協会では、地元企業を始め、多くの皆様からの温かい御支援の下、同事務所と協力して「スポーツと平和」、「持続可能な開発目標(SDGs)と教育」、「女性のエンパワーメント」を柱に据えた、幅広い分野の地域密着型事業を展開しています。こうした活動の成果は、地域活性化などの形で市民に還元されるのみならず、本市が推進する様々な施策にも大いに寄与するものであり、日頃から協会の活動を御支援いただいている皆様には感謝の念に堪えません。

同協会の活動を通じて、多くの方々がユニタール広島事務所を身近な存在として感じ、支援の輪が広がっていくことで、地域社会における国際貢献が一層進展していくことを期待するとともに、私も名誉顧問として、ユニタール広島事務所と市民をつなぐ一助となるよう、皆様と協力して活動を盛り上げてまいりたいと思います。

一般社団法人 国連ユニタール協会
名誉顧問 松井 一寛

ユニフォームパートナー

アンジュヴィオレ広島を運営するNPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブと国連ユニタールは、2月に協力覚書を締結しました。その第一弾としてユニタールが来季のユニフォームパートナーを務めます。2015年のアフガニスタン女子サッカー選手の研修や親善試合の開催以来、協力を深めてきた両者がここに新しい絆を結んだことを心からお祝いするとともに、今後当協会も加わり協働の機会を広げることができればと願っております。



ユニタールのロゴが入った新ユニフォームをまとったアンジュヴィオレ広島の皆さん(アンジュヴィオレ広島提供)



青少年大使 確かな変化をもたらすために

「国連ユニタール広島青少年大使」に任命された地元の高校生24名は、一般社団法人グローバル教育推進プロジェクトの辰野まどか代表理事や地球環境戦略機関の武田智子研究員ほか各界の専門家の指導も交え、アプリやウェビナーで学びを深めたり、イラクの研修生とオンラインで交流したりするなど3か月以上に渡って活動しました。4グループに分かれてSDGsの4つの目標について研究し、創設75周年を迎えた国連デーの2019年10月24日に発表。高野純弥さんが中心となってSDGsに関するホームページを立ち上げるなど、プログラム終了後も活躍しています。



広島県立廿日
市高校2年
谷川聡紀さん

「将来、SDGsを主として世界の問題を解決できる職に就くための経験を積むため応募した。SDGsに真剣に向き合う仲間と出会い、自分の考えに自信を持って発言できるようになった」



武田高校2年
大村桜子さん

「同世代の大使やメンター、講師の言葉ひとつひとつが刺激的で、圧倒された。SDGs達成の鍵は教育の質向上にあると感じ、プロフェッショナルな教育者になりたいと思うようになった」



核兵器禁止条約発効にあわせてビデオメッセージを発した大使たち
(2021年1月22日)

<https://www.unitar.org/ja/hiroshima/news-stories/news/unitars-youth-ambassadors-have-message>

大村さんのStoryはユニタールHPでもご覧いただけます。
<https://www.unitar.org/ja/hiroshima/stories/sakura-omura>

Ideas That Matter シリーズ

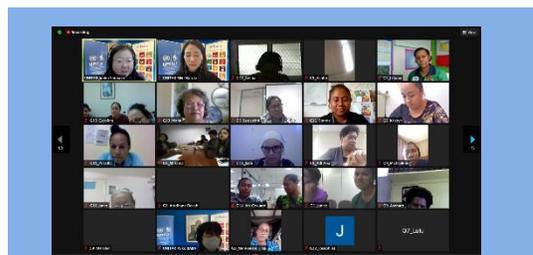
SDGsを羅針盤に、コロナ禍で大きく変容する社会を共に生き抜く新たな手掛かりを探るオンラインセッション「Ideas That Matter」シリーズ(国連ユニタール広島事務所との共催)は、今年度全9回をご好評のうちに終了し、延べ約650名にご参加いただきました。

上にご紹介した青少年大使の報告会に続き、第5回セッションを2020年11月5日の世界津波の日に開催しました。慶應義塾大学のショウ・ラジブ教授、和歌山県総務部危機管理局の森田康友危機管理監、上智大学大学院生で国連ユニタール広島津波防災に関する女性のリーダーシップ研修修了生のエルウン・ヒデヨス氏(パラオご出身)を交え、包括的な防災対策について考えました。

11月20日の「世界こどもの日」には、広島女学院大学の湊晶子学長が、貧困の拡大や休校による教育機会の減少など世界の子どもたちが直面する危機について解説しました。12月5日の「経済・社会開発のための国際ボランティア・デー」には、国際教養大学の勝又美智雄名誉教授が講演。グローバル時代に必要な力や自らの発信力向上についてお話ししました。

1月24日の「教育の国際デー」には、広島大学の池田秀雄名誉教授が、日本の歩みや支援を振り返りながら、開発途上国への教育協力について議論。今年度最終回となる3月8日の「国際女性デー」には、広島経済大学の上田みどり名誉教授が日本でのジェンダーに関する感覚やリーダーシップについて語りました。

来年度も新たなテーマでセミナーの開催を予定しておりますので、どうぞご期待ください。



写真は第5回セッションを前に開催されたウェビナー(2020年11月5日)(上) | 第6回セッション(2020年11月20日)(左下) | 勝又美智雄名誉教授(中央下) | 上田みどり名誉教授(右下)

お知らせ

《理事会》

- 2019年7月20日 コロナ対策のため書面での理事会決議。事務局組織運営規定の改定を承認。
- 2020年11月20日 コロナ対策によりオンラインでの理事会。定款の変更、名誉顧問に関する規程の承認。

《社員総会》

- 2020年11月20日 コロナ対策のため書面での社員総会決議。定款の変更。

《今後の予定》

- 2021年3月25日 「私たちの未来を創るために～25年後の未来を見据えたスポーツと平和～」



SDGs研修ONLINE

企業活動にSDGsを取り入れるためのノウハウを知る、法人企業様向け研修を、2019年11月12日にオンラインで開催しました。国連ユニタールニューヨーク事務所とクレアモント大学院大学による「SDGsと評価に関するリーダーシップ研修」を日本人として初めて修了し、日本でのSDGs推進の最前線で活躍されている慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科の高木超特任助教が講演。セミナー中も非常に多くの質問が寄せられ、『「SDGsのメガネをかけてみる」というキーワードで意識が変わった』など好評でした。新規の会員様も含めて、賛助会員の皆様にはセミナーの映像をご覧いただけますので、ご希望の方はinfo@unitar-a.jpまでご連絡ください。今後の研修もお楽しみに！



高木超特任助教

SDGs リレー

企業の皆様のSDGsのための取組をオンラインで発信し、社会の連帯促進をねらう「SDGsリレー2020」は、半年間で30もの法人の皆様にご参加いただきました。前号に引き続き、9月下旬以降のタスキをつないでいただいた15社のメッセージをご紹介します(HP掲載順)。皆様のご協力に感謝しております。今後もSDGsを日常に取り入れるコツを共有する企画を打ち出して参ります！



ライオン株式会社



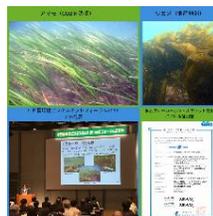
広島エフエム放送株式会社



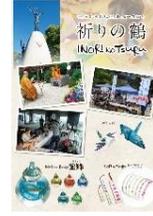
共栄美装株式会社



株式会社文華堂



中電技術コンサルタント株式会社



株式会社
広瀬印刷



株式会社メディカル
サービス明和



株式会社
朝日新聞社



株式会社デコラム



有限会社エヌ



オオアサ電子
株式会社



トーホー株式会社



株式会社
広島経済研究所



広島テレビ放送
株式会社



株式会社中国新聞社

心から御礼申しあげるとともに、活動の充実に一層励んで参ります。

「ご支援ありがとうございます」
2021年2月までに、新たに次の皆様に賛助会員に加わっていただきました。お申し込み順・団体様のみ」

オタフクソース株式会社
広島管財株式会社
アクト中食株式会社
共栄美装株式会社

ご入会・ご寄付をご検討の方がおられましたら、お声掛けのほどよろしくお願いたします。また、イベント情報などを掲載しておりますので、ユニタールのメルマガ、協会のInstagram、ツイッターもご活用ください。

